

Microsoft

DIGITAL TRUST

Summit 2019



山崎 善寛

Yoshihiro Yamasaki

日本マイクロソフト株式会社
Microsoft 365 ビジネス本部
本部長





デジタルな世界の広がり

増え続ける
エンドポイント

把握できない
ITやサービス

次々に変わる
攻撃手法

データの保護と
生産性のトレードオフ

捨てられない
セキュリティソリューション

慢性的な
セキュリティ人材不足

増え続ける
エンドポイント



統合化されたシンプルな
IT基盤の構築

見られない
セキュリティソリューション



人材の育成の
負担軽減

限定的な
セキュリティ人材不足

データ
生産性の



統合化されたシンプルな
IT基盤の構築

ネットに点在しているものはなにか

重複した資産はないか

権限管理は一元化されているか

クラウド上のID管理サービス

ネットワークベースのゼロトラスト



IDベースのゼロトラスト

ネットワーク接続のアクセス制御 ●

ネットワーク・セキュリティベンダー ●

マイクロセグメンテーション ●

IPアドレスなどに紐づけられる資産だけが対象となり、SaaSやPaaS上の資産は対象外。ベンダー固有の技術を利用し、標準化された技術はない

対象

ベンダー

手法と効果

● 資産単位でのアクセス制御

● IDaaSベンダー（Microsoftなど）

● 認証・認可、「信頼済み」の証明書

標準化された技術を利用し、ベンダーを超えた信頼性を確保できる。資産の場所に関係なく、どこにあっても信頼性を維持できる

IDベースのゼロトラストによって、アプリケーションやデータレベルでの信頼性を構築

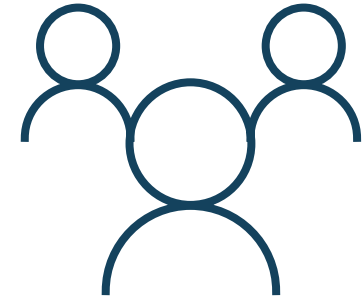
ユーザのふるまい検知をベースにした運用を行うことで、少ないデータでより多くの信頼できるインテリジェンスを活用することができる

新しいITを扱う知識？

新しい攻撃に対応するスキル？

正しい判断力？

AIやインテリジェンスの活用



人材の育成の
負担軽減



**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019

Siân John MBE

シアン・ジョーン

EMEA/APJ

Cybersecurity Strategy

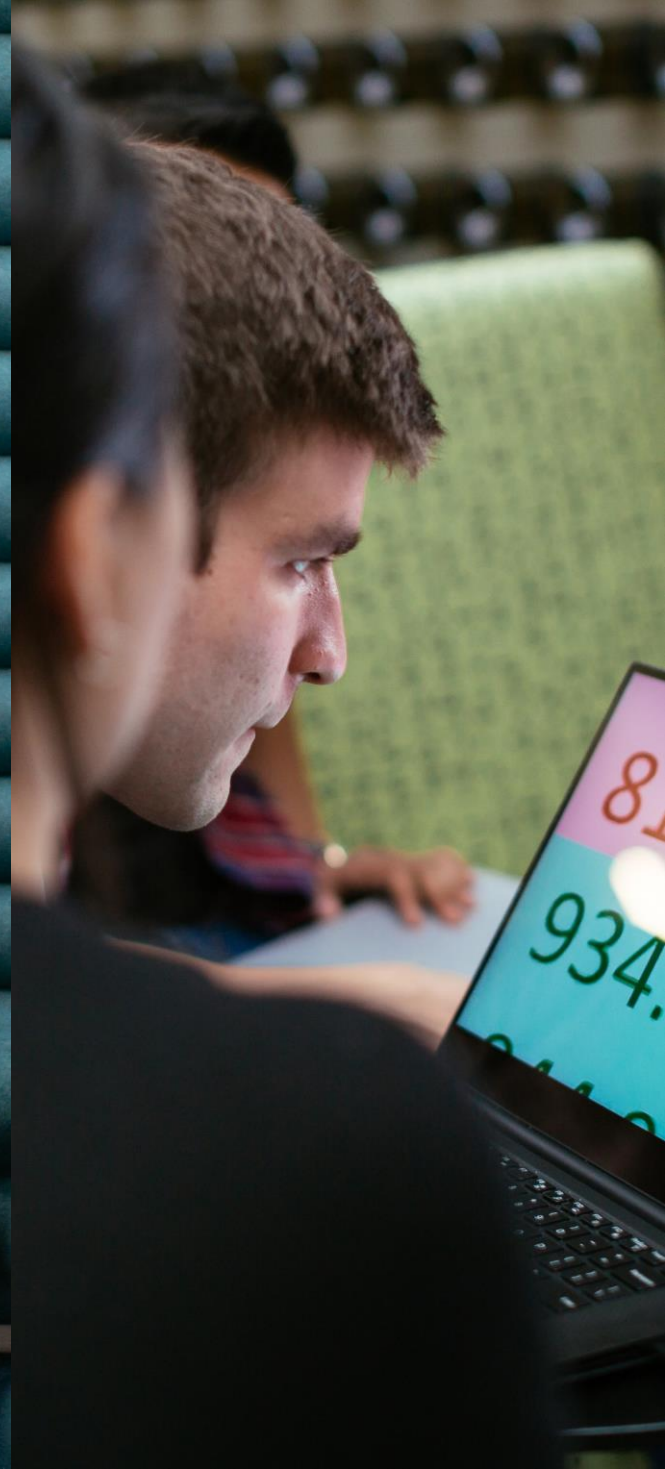




The power of people; amplifying our human capacity through technology and community

Siân John MBE
EMEA/APJ Cybersecurity Strategy
Cybersecurity Solutions Group





**\$8
TRILLION**

2022年までの世界経済に
対するサイバー犯罪のコスト

**¥400
BILLION**

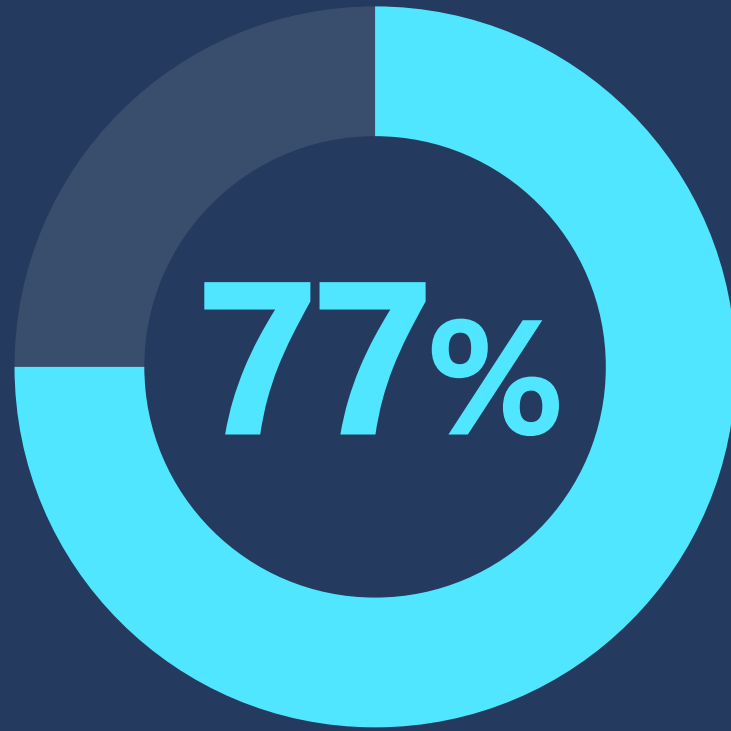
1つのデータ侵害の平均コスト

1 in 5

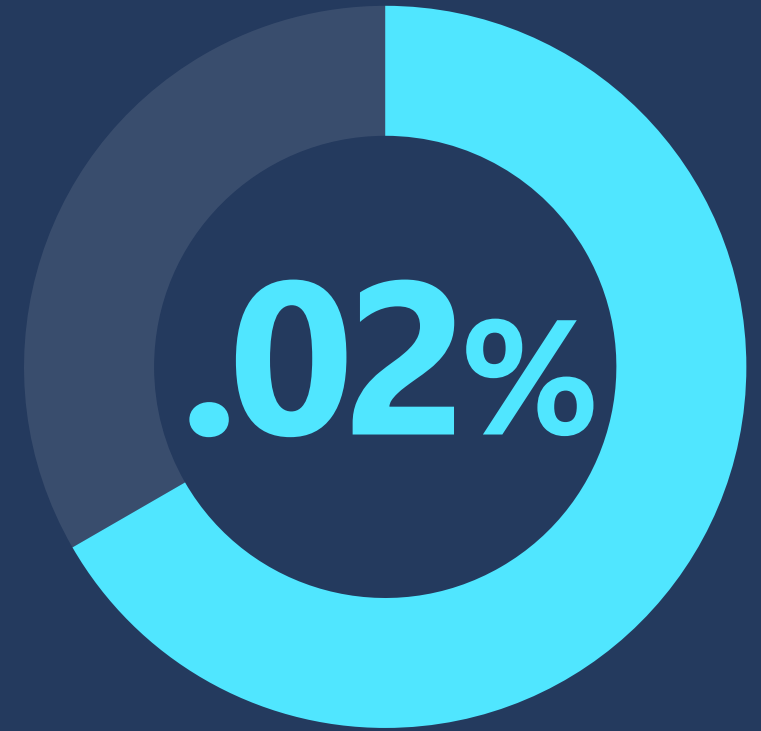
サイバー攻撃により
1/5 の組織が顧客を失う



マルウェア発生率は世界平均より
60% 低い



ランサムウェアの発生率が
75% に低下



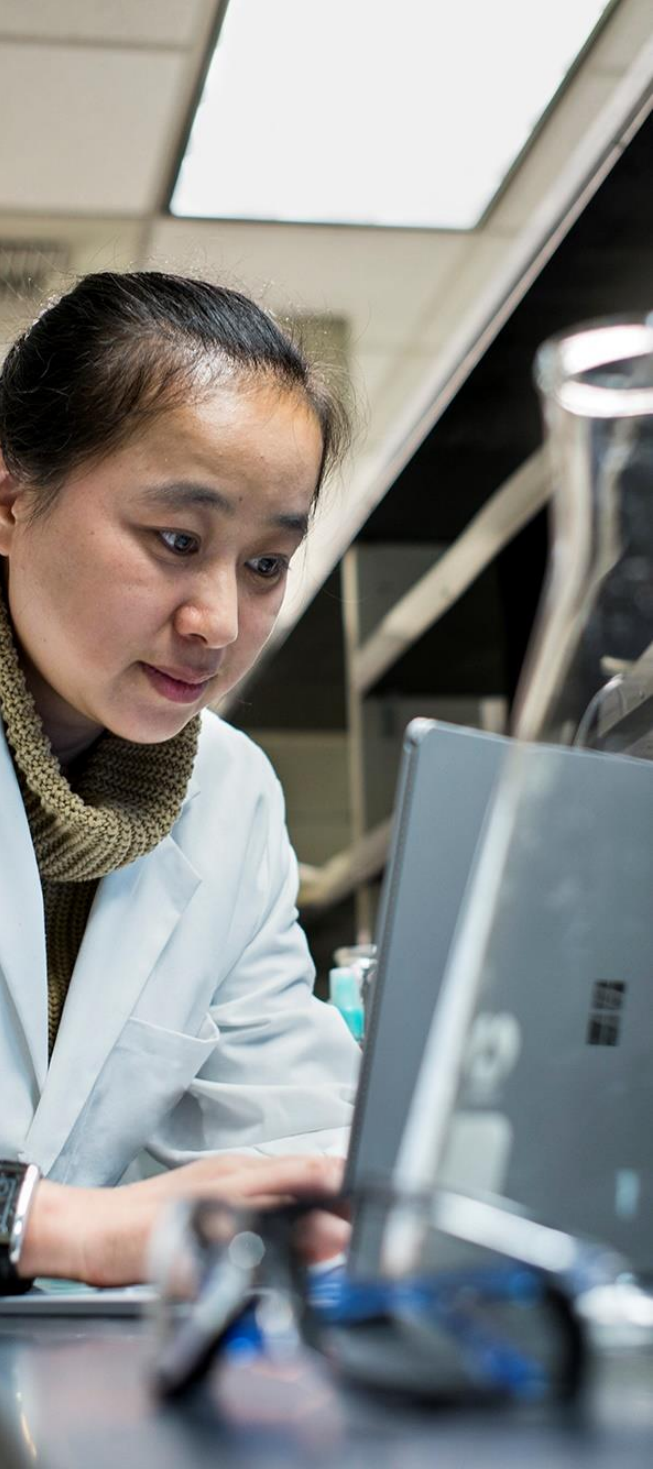
0.02%
仮想通貨の採掘率


PROTECT

DETECT

RESPOND







3+
MILLION

セキュリティ専門家の
今後 2 年間の推定不足数



70%

IT雇用者の多くは、ITプロフェッショナルの中程度から極端なスキル不足に直面していると述べている



51%

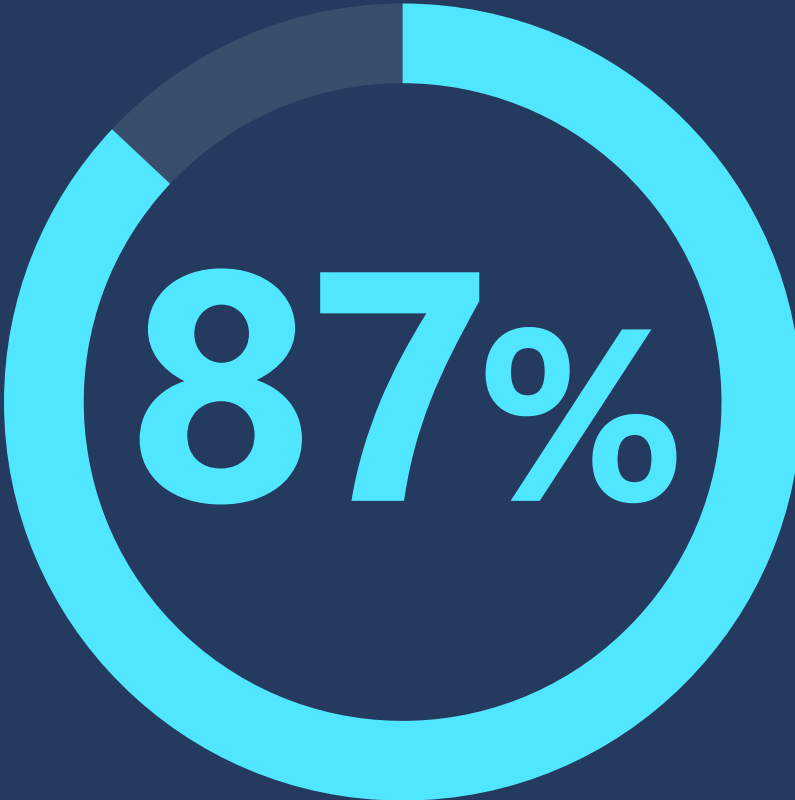
51% はストレスの少ない
低賃金の仕事を引き受ける





DIVERSE TEAMS

MAKE BETTER DECISIONS UP TO



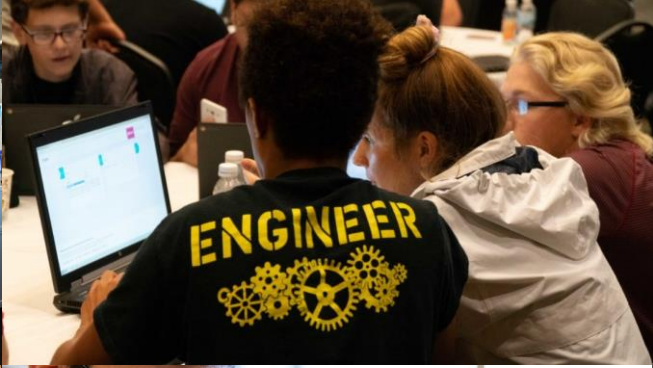
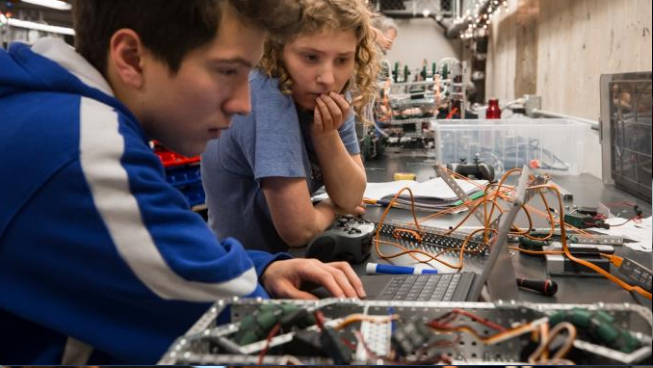
87%

OF THE TIME











**At Microsoft, our mission is to empower every person
and every organization on the planet to achieve more**





**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019

河野 省二

Shoji Kawano

日本マイクロソフト株式会社
Chief Security Officer



セキュリティ人材の雇用や教育が困難


- 2020年までにセキュリティ人材は1800万人不足と言われています
- 社内のセキュリティ人材のトレーニングに投資することと、従業員間でセキュリティを意識した文化を構築することが重要です

複雑な攻撃、判断の難しさ

- 信頼できるアラートを手に入れるために、大規模なクラウドプロバイダーが持つインテリジェンスや専門知識を活用する
- 自動化されたソフトウェアベースの処理で分析や対応をリアルタイムに行うことが可能です







Incident #496

[Edit incident name](#)

■■■■ High

Conditional access applied

INCIDENT DETAILS

Status: Active

Classification: True positive
[Set status and classification](#)

Assigned to: Dan Smith
[Unassign](#)

Category: Compromised mailbox, Suspicious activity, Persistence, Credential Theft, Compromised account, Suspicious activity

ACTIVE

Activity time
First - Jul 03, 2018 9:26:18 AM
Last - Jul 03, 2018 9:28:54 AM

Duration
00H : 03M : 23s

Dashboard > Incident

Alerts Devices Identities **Investigations** Incident graph Action center

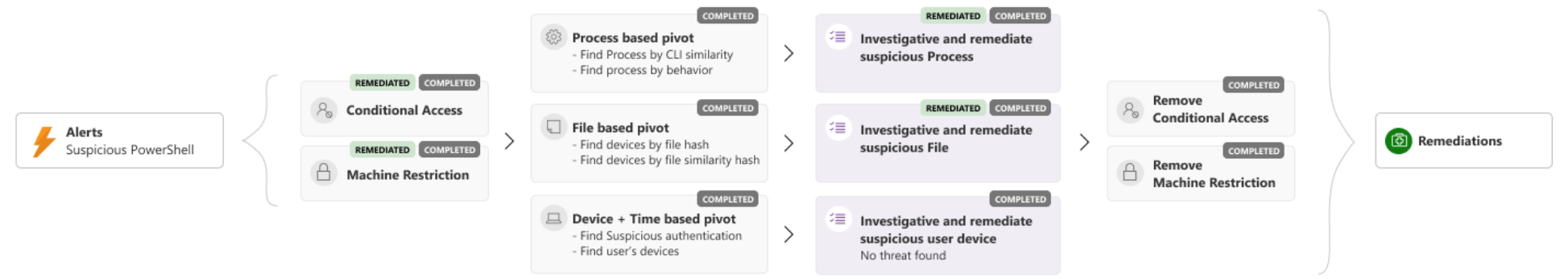
Share Comments and history Actions and assistance

↓ Collapse table

Export Customize columns Filters

Triggering alert	Investigation state	Investigated entities	Start date	Duration
Email reported as phishing	Remediated	cont-jonawolcot Jonathan.wolcott@contoso	Jul 03, 2018 09:26 AM	00:00:23
<input checked="" type="checkbox"/> Suspicious PowerShell	Remediated	cont-jonawolcot	Jul 03, 2018 09:26 AM	00:00:23
Golden ticket compromised	Running	JW Jonathan Wolcott	Jul 03, 2018 09:26 AM	00:00:23
Spear-phishing attack	Remediated	cont-jonawolcot	Jul 03, 2018 09:26 AM	00:00:20

ALERT AGGREGATION CONTAINMENT INVESTIGATION RESPONSE





Incident #496

[Edit incident name](#)

High

Conditional access applied

INCIDENT DETAILS

Status

Active

Classification

True positive

[Set status and classification](#)

Assigned to

Dan Smith

[Unassign](#)

Category

Compromised mailbox Suspicious activity

Persistence Credential Theft

Compromised account Suspicious activity

ACTIVE

Activity time
First - Jul 03, 2018 9:26:18 AM
Last - Jul 03, 2018 9:28:54 AM

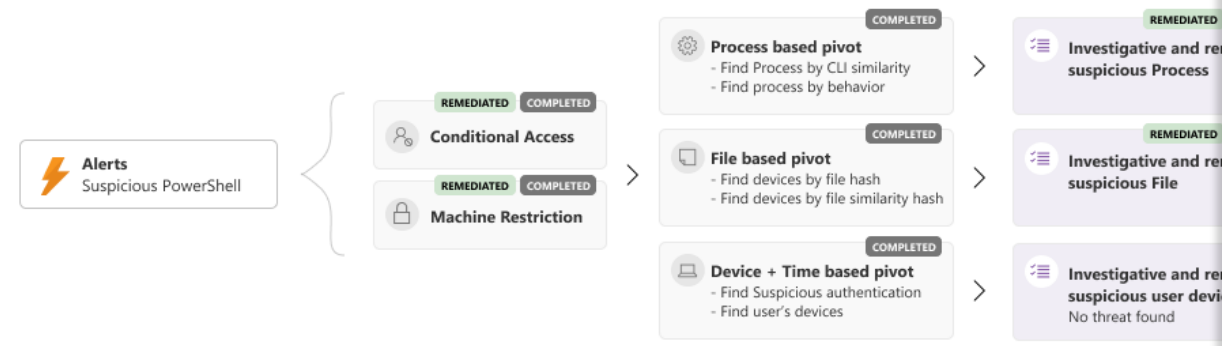
Duration
00H : 03M : 23s

Dashboard > Incident

Alerts Devices Identities Investigations Incident graph Action center

Triggering alert	Investigation state	Investigated entities
Email reported as phishing	Remediated	cont-jonawolcot Jonathan.wolcott@contoso
Suspicious PowerShell	Remediated	cont-jonawolcot
Golden ticket compromised	Running	JW Jonathan Wolcott
Spear-phishing attack	Remediated	cont-jonawolcot

ALERT AGGREGATION CONTAINMENT INVESTIGATION



Suspicious PowerShell

Remediated

Investigation details

Severity

Medium

Status

Running

First activity

Jul 03, 2018 9:29:42 AM

Threats found

#Malwear

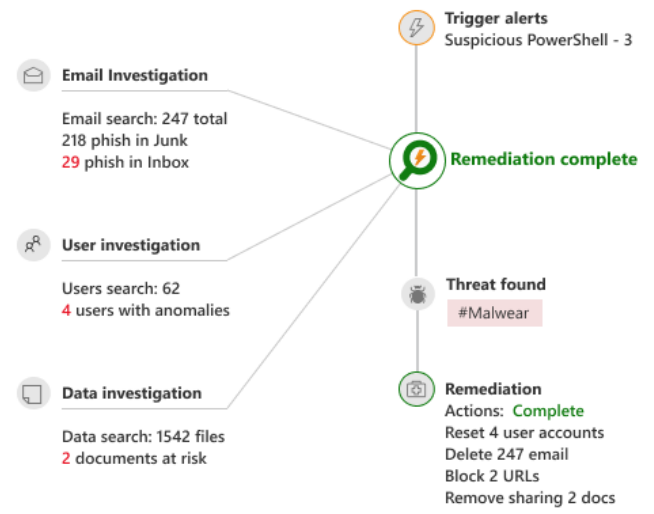
Category

Suspicious activity

Last activity

Jul 03, 2018 9:32:42 AM

Investigation chart



[Open playbook log](#) [Close](#)

最短 2 週間!《限定 100 社》無料 脅威可視化アセスメントサービス



メールから来る
脅威可視化



エンドポイントによる
脅威可視化



ID/認証における
脅威可視化



Office 365 のデータに
おける脅威可視化



<https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/security/digital-trust-check.aspx>

機密情報可視化アセスメントサービス



11月以降提供開始予定

無償

無償で貴社機密情報 / 個人情報の管理状況を可視化させていただきます。

コンプライアンス対策の「はじめの一步」として機密情報管理から始めませんか。機密情報や個人情報が、正しく管理されているかを可視化させていただきます。

- ✓ 機密情報が外部へ共有されていないか。
- ✓ 機密情報が社内でもアクセスできる状態になっていないか。
- ✓ 機密情報が複数のフォルダに点在してしまっていないか。など

情報保護対策がなぜ求められるのか？

情報を取り扱う環境の変化により社内外でのリスクが急増

クラウド活用による
情報の分散

情報が漏えいした際の
企業ブランドイメージの低下

グローバルでの
法規制の強化

情報セキュリティ10大脅威 2019 ※1	
1位	標的型攻撃による被害
2位	ビジネスメール詐欺による被害
3位	ランサムウェアによる被害
4位	サプライチェーンの弱さを悪用した攻撃の高まり
5位	内部不正による情報漏えい
6位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止
7位	インターネットサービスからの個人情報の窃取
8位	IoT機器の脆弱性の顕在化
9位	最終者対策情報の公開に伴う悪用増加
10位	不正アクセスによる情報漏えい

想定損害賠償総額

→ 約 **1,914** 億円^{※2}

※1 Copyright © 2019 Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA) ※2 Copyright 2018 NPO Japan Network Security Association (JNSA)

Microsoft

DIGITAL TRUST
Summit 2019 



株式会社NHKテクノロジーズ
穂積 律宇 様



2020 年に向けたサイバーセキュリティ戦略



株式会社NHKテクノロジーズ
穂積 律宇

NHK テクノロジーのセキュリティ戦略・方針

経営理念：

“公共メディア”NHKを支える総合技術会社として、創造性に富む企業文化を構築するとともに、多様な専門性と確かな技術力により社会に貢献します”

1 NHKへの貢献

NHK業務を高度かつ効率的に担う役割を果たし、“公共メディア”NHKを支えます

2 NHKグループへの貢献

先進性や独自性を大切に、技術の変革・スピードを意識した対応で、NHKグループからの期待に応えます

3 社会への貢献

NHKグループとして期待される高度な専門性や技術力により、文化の創造と社会の発展に貢献します



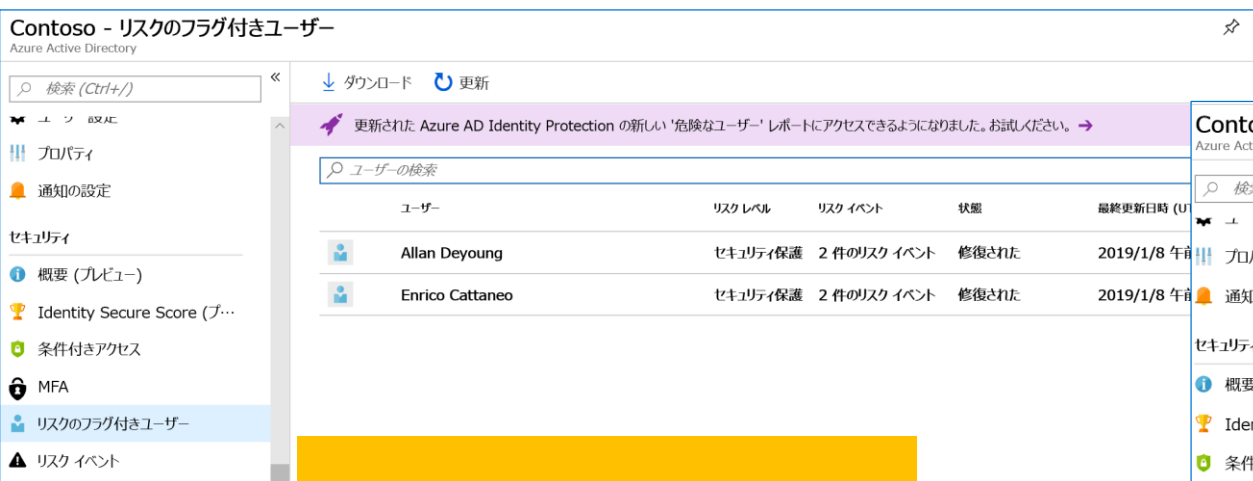
高度な専門性が要求される情報セキュリティ強化により、公共メディアのITガバナンスを支える

近年の被害動向を受け、マイクロソフトの脅威可視化アセスメントを実施

運用中の Office365 テナント上で、**脅威の可視化**を実施

- ① ID + パスワードがブラックマーケットに流出していた
- ② 大量のファイルがダウンロードされていた (正当な理由ではない可能性)

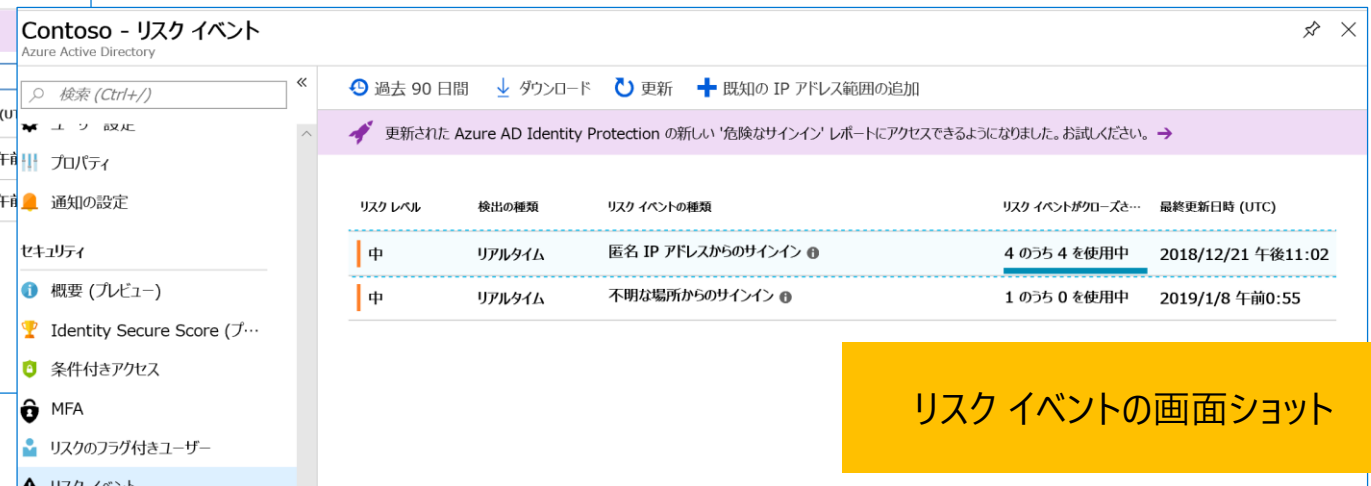
	結果	危険度		結果	危険度
 Office 365 振る舞い	大量のファイル削除アクティビティのみ Cyber Kill Chain の観点で、ID 盗用まで行われているため、データの監視は継続を推奨	中	 ID/認証	以下の不正アクセスが成功されている状態 ・漏洩した資格情報からの不正アクセス ・接続元を偽装したアクセス (Tor ブラウザなど)	高



Contoso - リスクのフラグ付きユーザー
Azure Active Directory

ユーザー	リスクレベル	リスク イベント	状態	最終更新日時 (UTC)
Allan Deyoung	セキュリティ保護	2 件のリスク イベント	修復された	2019/1/8 午前
Enrico Cattaneo	セキュリティ保護	2 件のリスク イベント	修復された	2019/1/8 午前

リスクのフラグ付きユーザーの画面ショット



Contoso - リスク イベント
Azure Active Directory

リスクレベル	検出の種類	リスク イベントの種類	リスク イベントがクローズさ...	最終更新日時 (UTC)
中	リアルタイム	匿名 IP アドレスからのサインイン ⓘ	4 のうち 4 を使用中	2018/12/21 午後11:02
中	リアルタイム	不明な場所からのサインイン ⓘ	1 のうち 0 を使用中	2019/1/8 午前0:55

リスク イベントの画面ショット

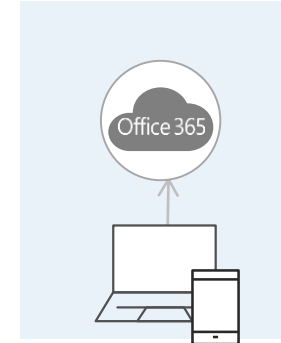
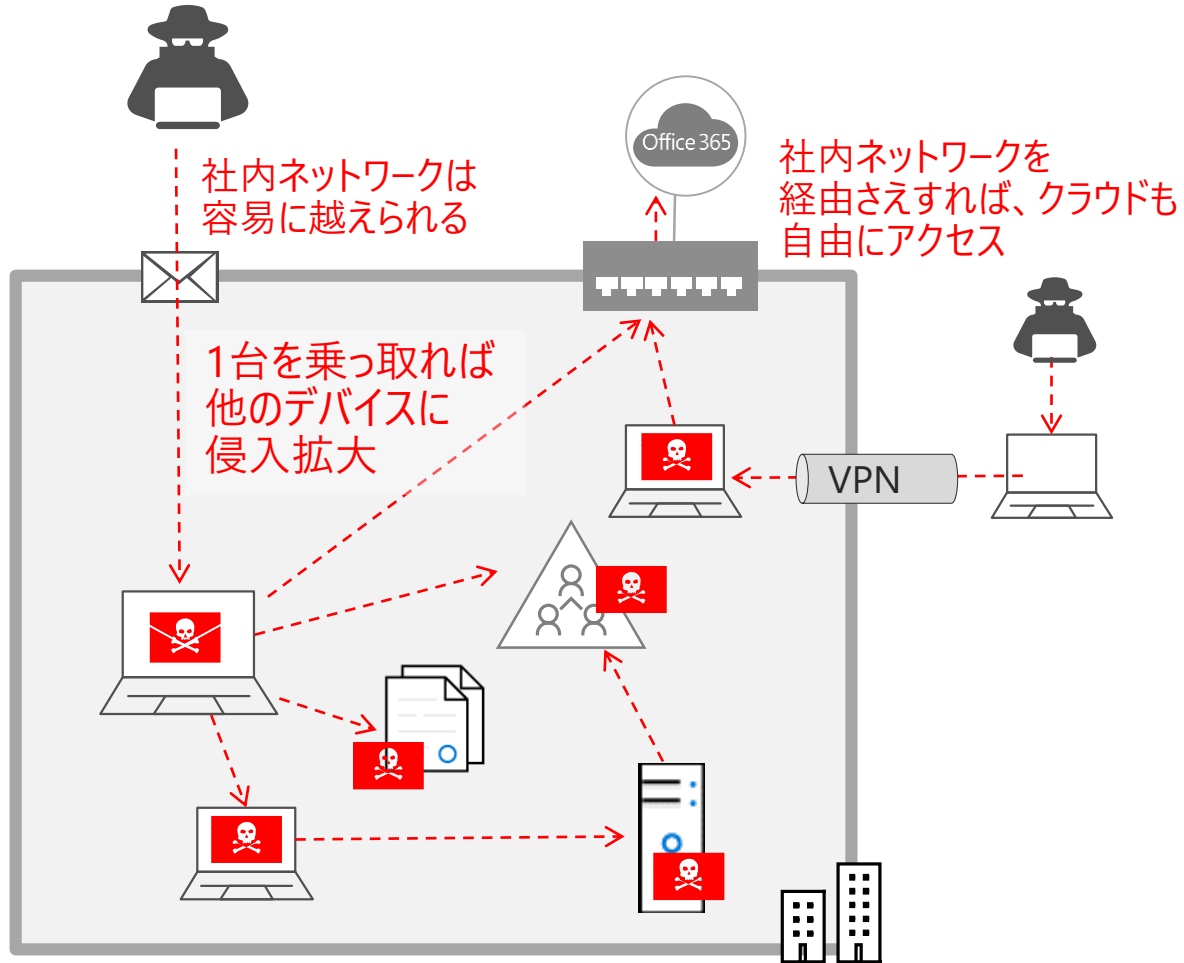
脅威可視化アセスメントの結果により、従来の対策の限界を認識

従来のセキュリティ対策は...



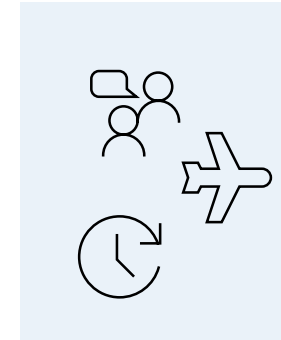
しかし!!
世界は会社の外で動いている

ネットワークを境界とした信頼モデル
= 侵入済みの脅威に対して脆弱



IT 環境の変化

- ・アプリケーションのクラウド化
- ・インフラのクラウド化
- ・多様化するデバイス



働き方の変化

- ・多様化する働く場所、時間
- ・グローバル化
- ・B to B



脅威の変化

- ・標的型攻撃
- ・内部犯行
- ・ビジネスとしてのサイバー攻撃

ゼロトラストの考え方がもっともマッチ

Achieve Zero Trust with Azure AD conditional access

<https://www.microsoft.com/en-ww/security/technology/identity-access-management/zero-trust>

From perimeter security to Zero Trust



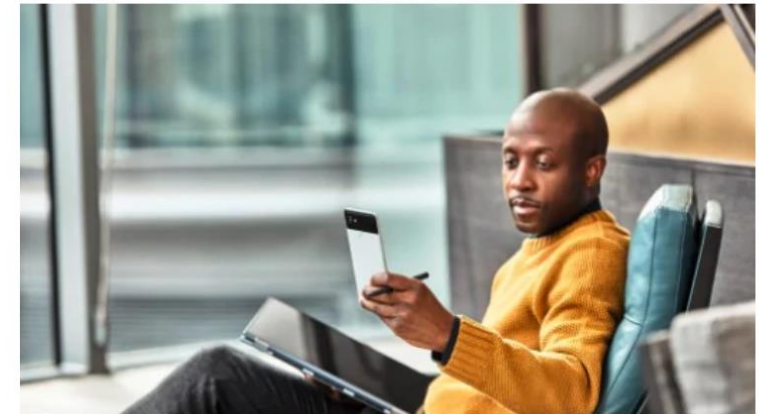
Establish identity as the control plane

Today, users work anywhere with multiple devices and apps. The only constant is user identity. That's why the first step to Zero Trust is making identity your security control plane.



Assume every resource is on the open internet

To ensure the security of your corporate data, the second step is to connect all your on-premises and cloud apps along with your user identities and their devices to the cloud.



Never trust—always verify

Finally, every access must be verified. Azure AD conditional access provides you the ability to verify identity, device, app, data, and risk signals before allowing access.

1. NHK グループにおけるテクノロジーリーダー企業として
グループ全体を脅威から守るためにできることは何か

2. 2020 年に向けて
高まるサイバー攻撃リスク

3. 脅威可視化アセスメントで発覚した
既にサイバー攻撃を受けている事実

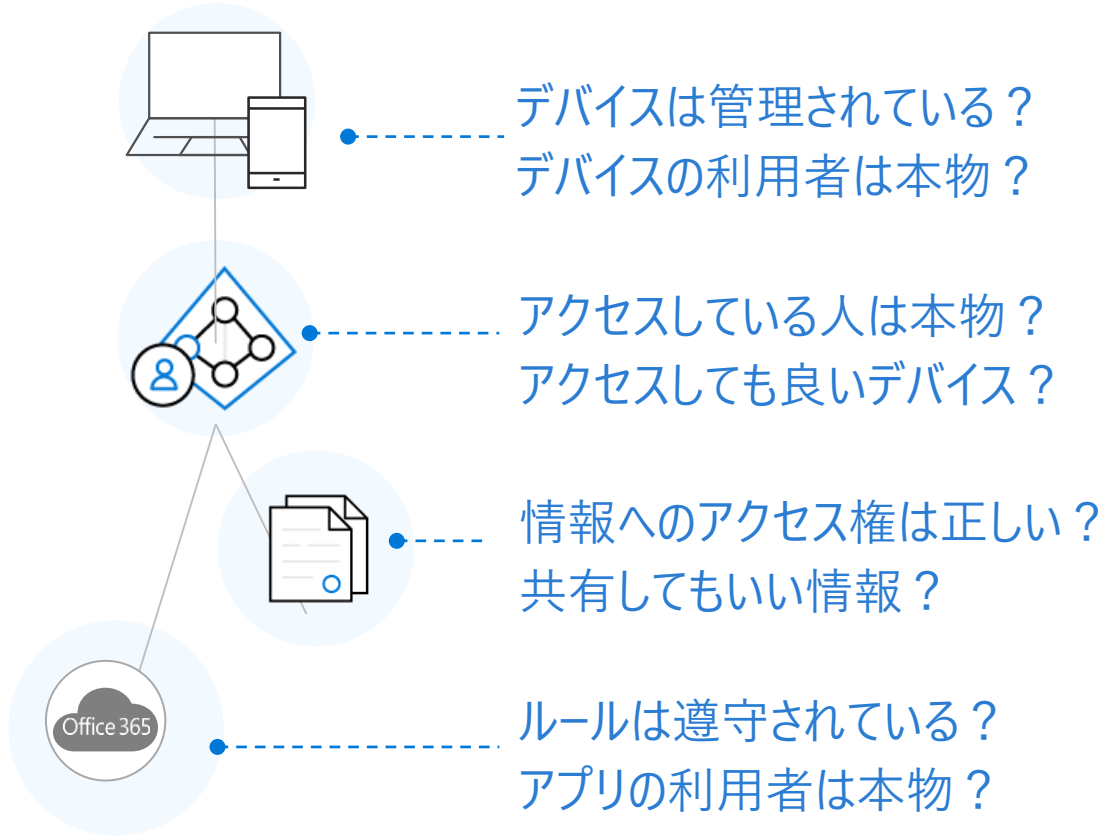


ゼロトラストを最も迅速に実現できる Microsoft 365 E5 の導入を決定

今後、必要とされる考え方

ゼロトラスト = 信頼しないモデル

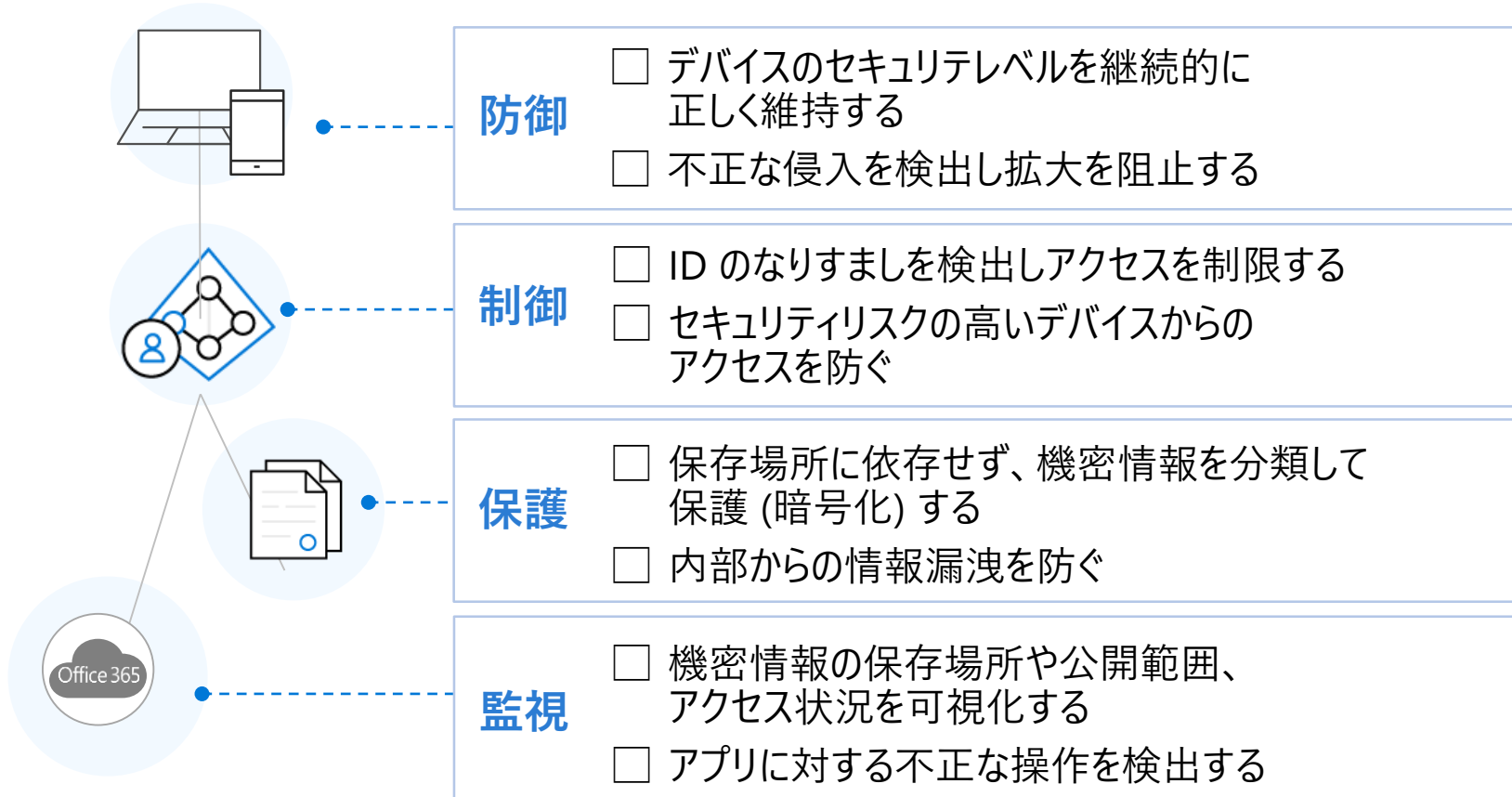
信頼しないので、本物であることをイチイチ確認する





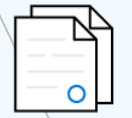

今後、必要とされる考え方

ゼロトラスト = 信頼しないモデル

信頼しないので、本物であることをイチイチ確認する



現状できていることをチェックし、今後の対策を検討

	現状できていることをチェック	必要な対策
	防御 <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> デバイスのセキュリテレベルを継続的に正しく維持する<input type="checkbox"/> 不正な侵入を検出し拡大を阻止する	<ul style="list-style-type: none">→ デバイスのセキュリティ管理 (モバイル)→ デバイスへの脅威検出と自動修復
	制御 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ID のなりすましを検出しアクセスを制限する<input type="checkbox"/> セキュリティリスクの高いデバイスからのアクセスを防ぐ	<ul style="list-style-type: none">→ リスクベース認証→ 危険なデバイスのアクセス制限
	保護 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 保存場所に依存せず、機密情報を分類して保護 (暗号化) する<input type="checkbox"/> 内部からの情報漏洩を防ぐ	<ul style="list-style-type: none">→ ファイルの分類・保護→ 機密情報の投稿や共有を防止
	監視 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 機密情報の保存場所や公開範囲、アクセス状況を可視化する<input type="checkbox"/> アプリに対する不正な操作を検出する	<ul style="list-style-type: none">→ 機密情報の可視化と自動修復→ 内部・外部犯行の可視化と防止

現状できていることをチェックし、今後の対策を検討

→ Microsoft 365 E5 の導入を決定

E5 に決定した理由：

- ゼロトラストの実現に必要なサービスがすべて含まれている
- コンセプトが共通している
(圧倒的な脅威情報から得る高度な脅威検出、対応の自動化)
- クラウドなので短期間で導入可能

Microsoft 365
E5 に対応可能

- 必要な対策
- デバイスのセキュリティ管理 (モバイル)
 - デバイスへの脅威検出と自動修復

- リスクベース認証
- 危険なデバイスのアクセス制限

- ファイルの分類・保護
- 機密情報の投稿や共有を防止

- 機密情報の可視化と自動修復
- 内部・外部犯行の可視化と防止

+

今後評価したい
(Azure Sentinel)

- クラウド型 SIEM / SOAR (将来)

まとめ

- NHK グループにおけるテクノロジーリーダー企業として、セキュリティ分野においても、リーダーシップを発揮する。
- 高度な専門性や技術力をもって、NHKグループのみならず、社会に貢献する。





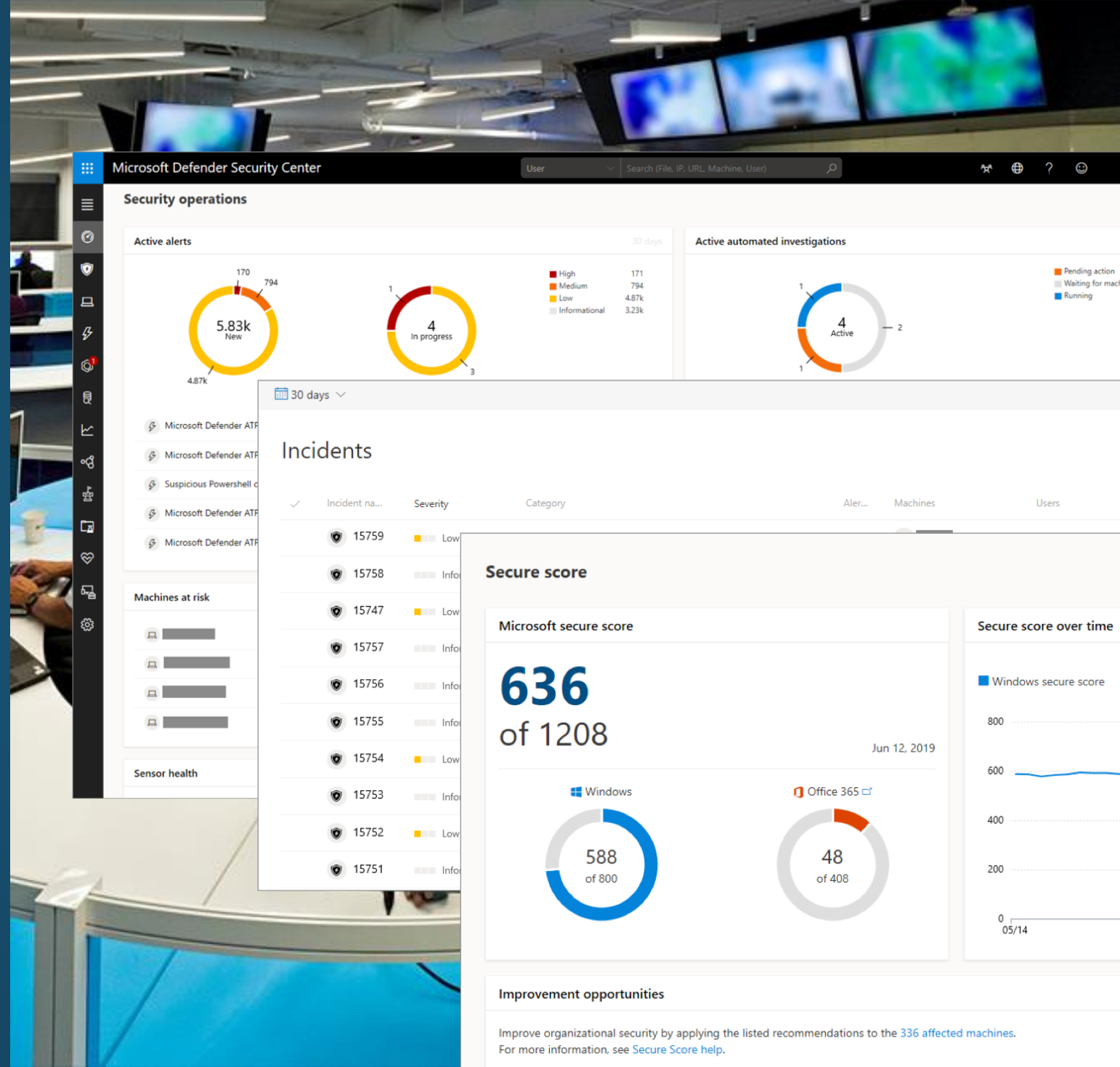
**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019



Demo: Microsoft Defender Security Center

脅威と脆弱性の管理 (TVM)





Microsoft Defender Advanced Threat Protection

ビルトイン・クラウドパワー



脅威と脆弱性情報の管理



攻撃対象の削減



次世代保護



EDR



自動調査と修復



MICROSOFT
THREAT EXPERTS

設定と構成の集中管理、APIによる制御



**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019



Microsoft 365

シンプルで統合されたセキュリティ

IDベースの
統合型
セキュリティ

スケジュールされた
監査機能

データ
ガバナンス

脅威
インテリジェンス

APIを活用した
自動化ツール

ID連携による
他社製品との
連携

最小限の準備で
長期間利用



Microsoft 365

シンプルで統合されたセキュリティ

IDベースの
統合型
セキュリティ

スケジュールされた
監査機能

データ
ガバナンス

ID連携による
他社製品との
連携

最小限の準備で
長期間利用

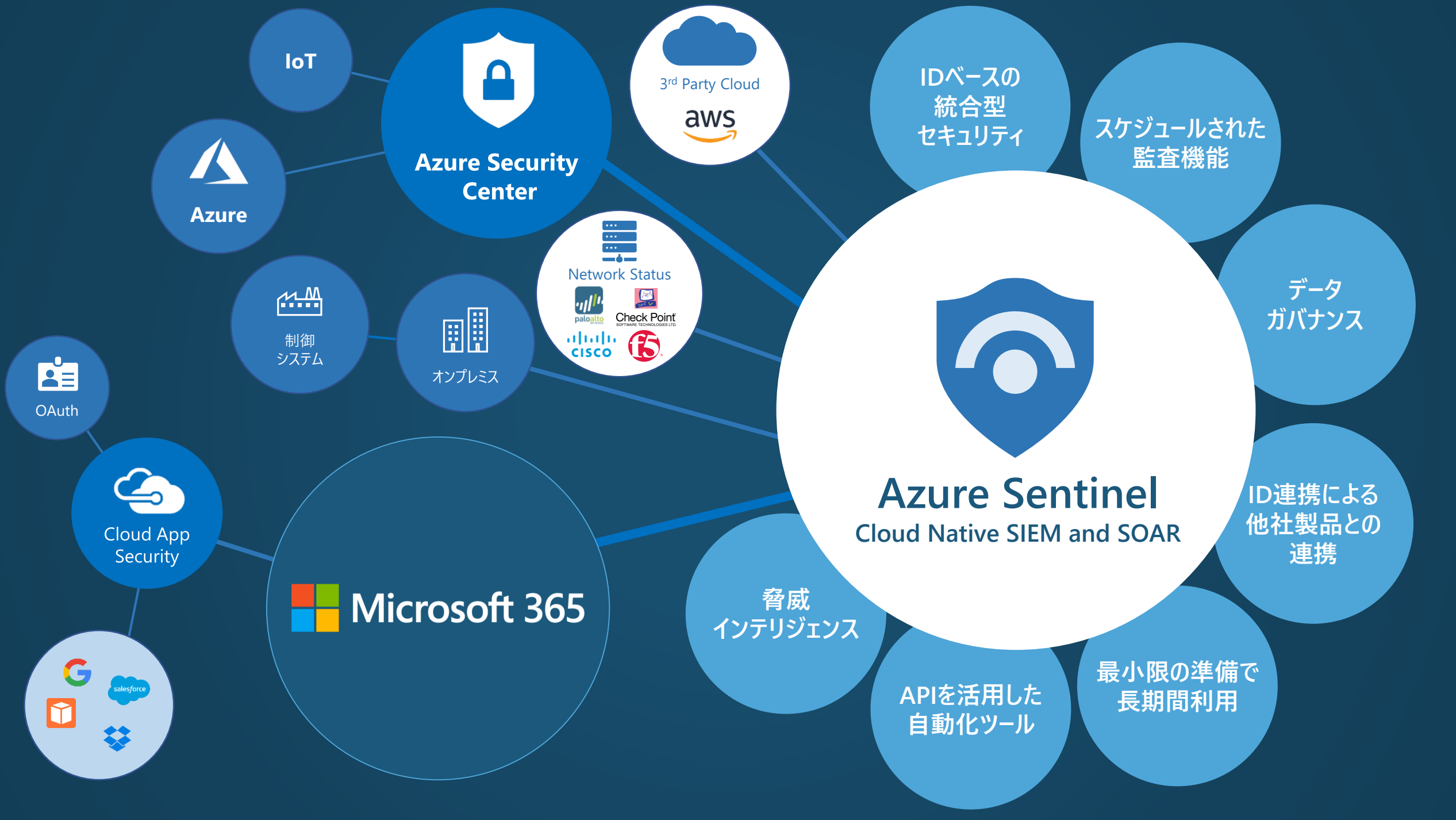
APIを活用した
自動化ツール

脅威
インテリジェンス



Azure Sentinel

Cloud Native SIEM and SOAR



Azure Security Center

3rd Party Cloud
aws

IDベースの
統合型
セキュリティ

スケジュールされた
監査機能

データ
ガバナンス

ID連携による
他社製品との
連携

Azure Sentinel
Cloud Native SIEM and SOAR

脅威
インテリジェンス

APIを活用した
自動化ツール

最小限の準備で
長期間利用

制御
システム

オンプレミス

Network Status
paloalto
Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.
CISCO
f5

Microsoft 365

Cloud App
Security

OAuth

salesforce
Google
Office
Dropbox

Azure

IoT



**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019

Microsoft

DIGITAL TRUST
Summit 2019



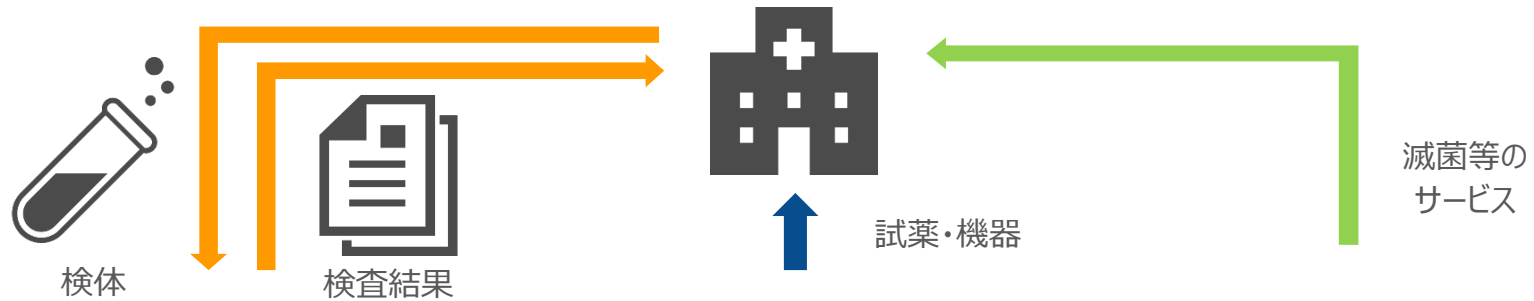
Miraca

みらかホールディングス株式会社
ITインフラサービス部 部長
茂手木 達男 様

会社名	みらかホールディングス株式会社
設立	1950年12月18日 <small>(2005年7月1日(旧)富士レビオ株式会社より社名変更、会社分割により持株会社化)</small>
本店所在地	東京都新宿区
代表者	代表執行役社長兼グループCEO竹内成和
資本金	9,113百万円(2019年3月末現在)
経営体制	指名委員会等設置会社

- 2016年10月に代表執行役社長が交代(エンタテインメント業界出身)
- 2017年度を「第2の創業」と位置付け、グループ全体の変革を推進

みらかグループの事業



臨床検査の受託サービス事業

臨床検査に使用する
試薬・機器の製造販売事業

滅菌等の医療関連サービス事業
(医療行為を除く)

受託臨床検査事業



SIRIL 株式会社 エスアールエル
Communication for Health

臨床検査薬事業



富士シボ株式会社

滅菌関連事業



NS 日本ステリ株式会社
Nihon Stery

新規 育成 事業



食品・環境・
化粧品検査



在宅・福祉用具



CRO



セルフメディケーション・
健保ビジネス

「検体検査」はこんな形で役に立っています



みらかグループが提供するサービスは、
(実は・・・) 皆さんの生活の近くにいます。

◆ サービス対象：2019年10月現在

- みらかグループ国内20社以上
- 約120拠点
- 約8,000ユーザー

◆ 目的：ITインフラ環境を統合しグループ内に以下の事業価値を提供する

- **統一されたセキュリティ環境**
- 環境集約によるコスト削減
- どの拠点でも通常通りの業務ができる環境

我々の取り組み

◆ 経験や知識による変革設計

- 現状調査
- 新IT標準・制度の設計

環境
構築



◆ マンパワーによる変革導入

- 新規運用のスタート
- 既存環境の廃止

環境
集約

新しい
IT風土

◆ 変革に対応できるIT環境

- 組織目標の共有
- 付加価値の提供
- 自己啓発

気持ちの変革の後押し！

これまでのインフラ統合計画

2017年度

2018年度

2019年度

1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
◆ シェアードIT組織開始											
◆ Microsoft 365 E3 7,000 ユーザーに展開開始											
								◆ Microsoft 365 E5 Security 9,000 ユーザーに展開開始			
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block; background-color: #004a7c; color: white; font-weight: bold; font-size: 1.2em;"> Azure Sentinel 検討・導入 </div>											
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;"> DC運用設計、500台DC移設計画、500台オンプレサーバ運用統合、新規サーバ構築 </div>											
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;"> 国内グループ120拠点のネットワーク統合と無線化 </div>											
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;"> グループ標準PC MeW 配布 6,800台 </div>											





ログの統合基盤およびセキュリティチームの運用効率実現に向けて Azure Sentinel を採用

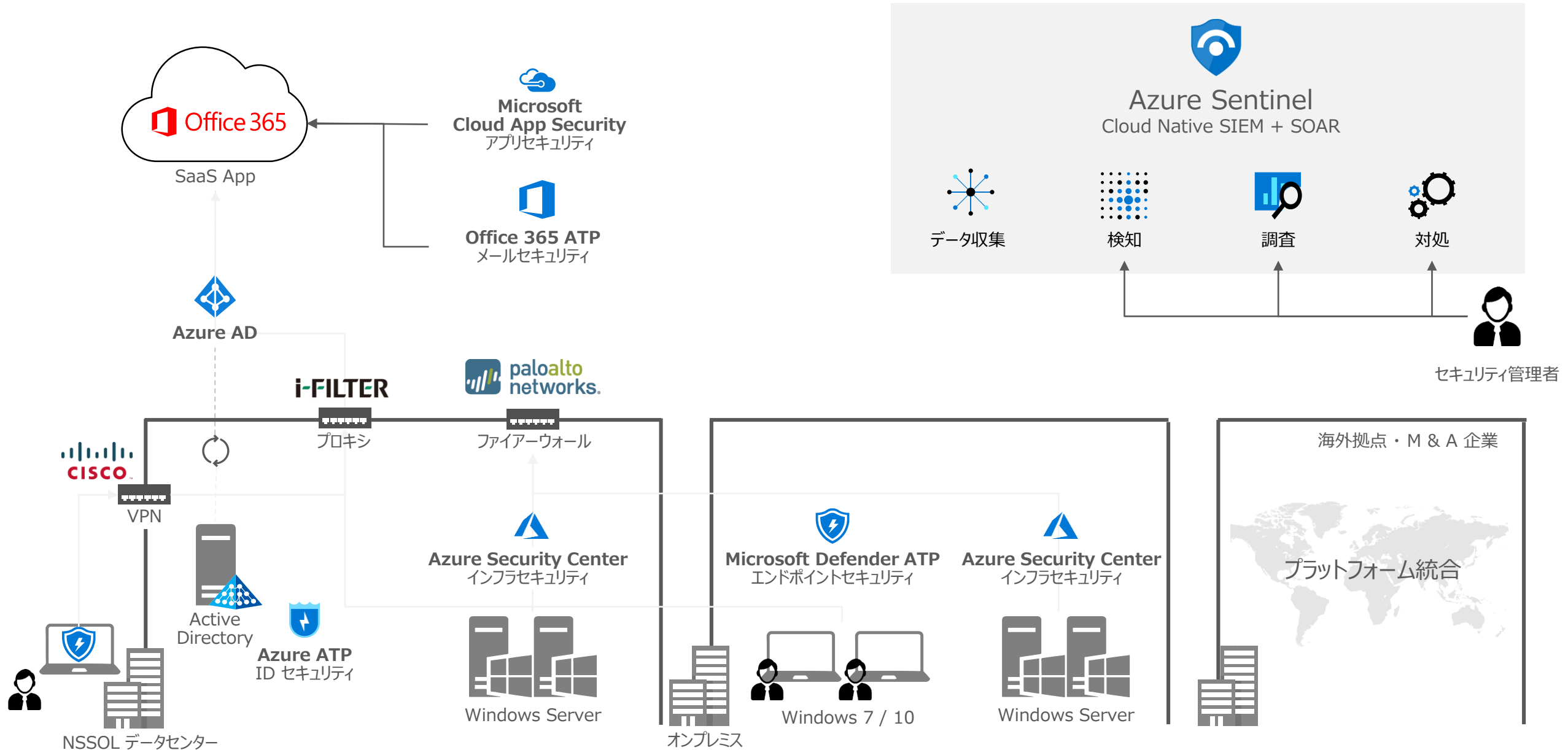
課題

- ✓ IT 基盤のログ統合の実装
- ✓ ログの相関分析の実装

Azure Sentinel の優位性

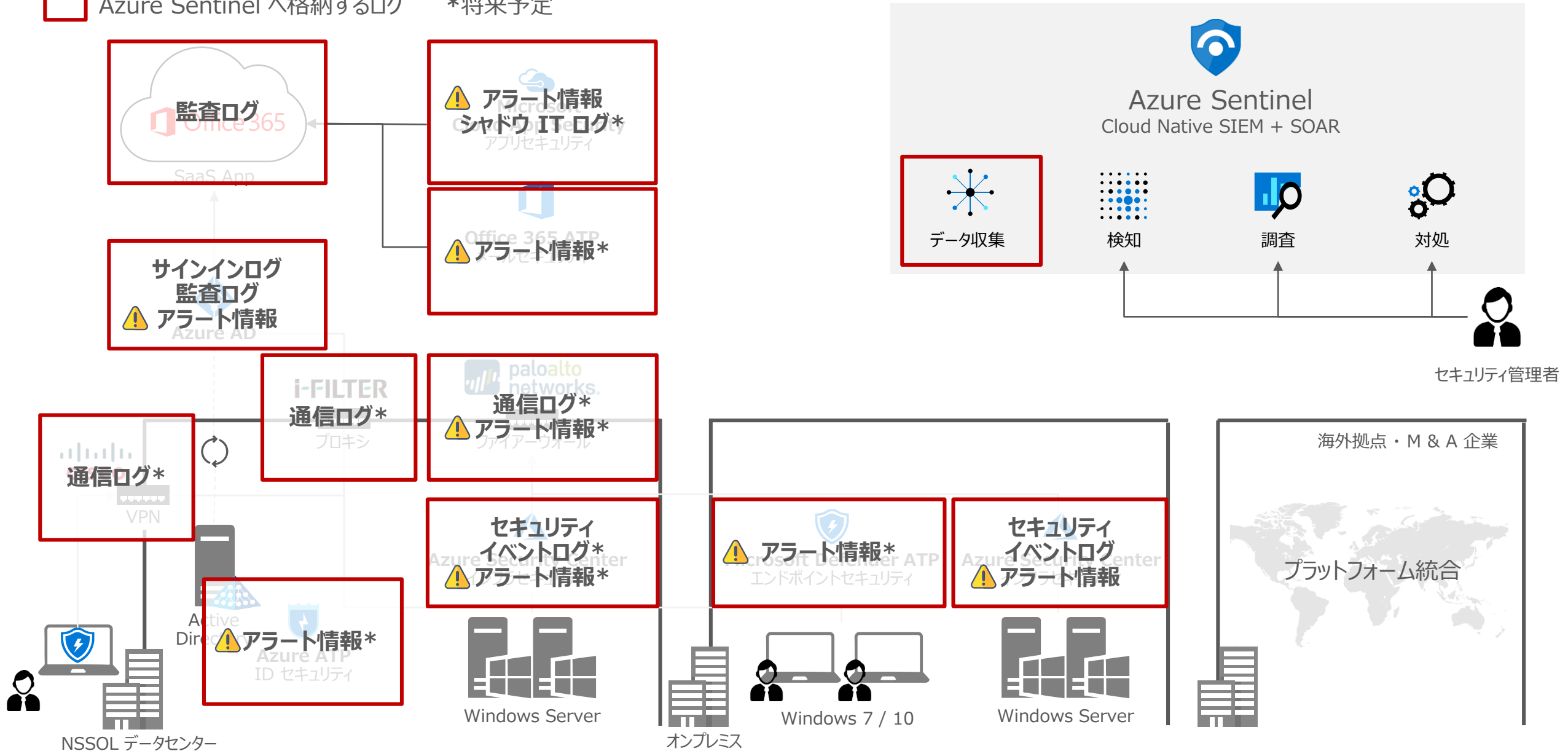
- 低コストでログの一元管理が可能
- 導入から運用するまでのスピードが早い
- マイクロソフトの脅威インテリジェンスを活用可能
- 外部委託がしやすい
- 容易な脅威の調査 & 対処

アーキテクチャ図



アーキテクチャ図

□ Azure Sentinel へ格納するログ *将来予定



Miraca



**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019



Demo:

Microsoft Azure Sentinel

Cloud native SIEM and SOAR





**DIGITAL
TRUST**

Summit 2019

Microsoft Graph を活用した開発の一元化

<https://graph.microsoft.com>



全てのものに ユーザと組織のデータ

- Microsoft 365
- Azure
- Microsoft Partners

一つのインターフェースで アクセスできる

- 一つのエンドポイントから
- 1つの認証キーで全てにアクセス
- 共通のSDKで開発できる

Apps



Web apps



Device & native apps



Bots



Background processes



Analytics dashboard & tools



Automation workflows

Microsoft Graph

Common Libraries, Authentication, and Authorization



Alerts



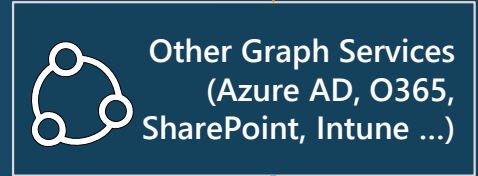
Secure Score



Indicators



Actions



Other Graph Services
(Azure AD, O365, SharePoint, Intune ...)

Graph Security API
Federates Queries, Aggregates Results, Applies Common Schema

Security Providers



Microsoft Defender ATP



Office 365 ATP



Azure ATP



Azure AD Identity Protection



Cloud App Security



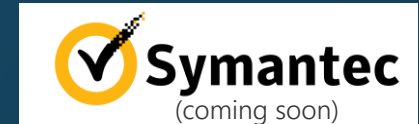
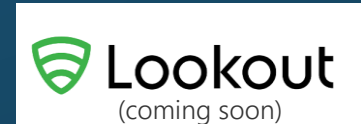
Azure Security Center



Azure Information Protection



Azure Sentinel



Microsoft

Digital  **Trust**
Security Alliance



SB Technology



パーソル プロセス&テクノロジー



Microsoft Digital Trust Security Alliance



Sophia Network



Microsoft

Digital Trust

Security Alliance



5000人

ユーザー向けセキュリティ
勉強会実施予定



50社

パートナー設立



5000人

学生向けセキュリティ
教育実施予定

Microsoft

DIGITAL TRUST

Summit 2019

